

■UN・英国：ヒンクリーポイント、隣国への影響に関する協議が難航

2016年5月8日付の報道によると、ジュネーブで2016年3月15～17日に開催された国連・経済社会理事会（Economic and Social Council）欧州経済委員会実行委員会は、「EPR2基の建設が計画されているヒンクリーポイントについて、英国は隣接国に対して原子力事故による影響について協議する義務を果たしていない」と結論付けた。これまで英国政府は、大陸の国々に対して、国境を越えるような重大な環境影響の可能性はゼロあるいはほんのわずかでその必要はないと主張してきた。一方、オーストリアは、放射性物質が風に乗って大陸に拡散し得る重大事故の可能性があるので協議すべきと主張、オランダ、ノルウェー、アイルランドもこれに同調している。この問題を巡って、同委員会は解決に向けて動くよう英国政府に勧告した。